

施工管理基準に基づく参考様式一覧表

様式番号	様式名
(出来形管理)	
1	出来形管理表(表紙)
2-1	出来形管理表・測定結果一覧表
2-2	測定結果一覧表
3	出来形管理表(図表)
4	度数表
(品質管理)	
5	品質管理表(表紙)
6	調査結果総括表
7-1	現場密度測定試験(置換法)
7-2	" (突砂法)
8	道路の平板載荷試験
9	ブルーフローリング試験
10-1	現場における土の乾燥単位体積重量測定用紙
10-2	下層路盤用クラッシャーランの粒径加積曲線図
10-3	上層路盤用粒調碎石の粒径加積曲線図
11-1	アスファルト合材の管理試験
11-2	基準密度測定表
11-3	配合設計決定表
12	アスファルトの抽出試験(ソックスレー法)
13	密度及び厚さの測定表
14	まだ固まらないコンクリートの洗い分析試験
(品質管理データシート)	
15-1	\bar{x} -R管理データシート(1)
15-2	" (1)の2
15-3	\bar{x} -R管理図(1)
15-4	\bar{x} -Rs-Rm管理データシート(1)
15-5	" (1)の2
15-6	\bar{x} -Rs-Rm管理図

本様式は参考様式です。

様式 1

工事名

工 出 来 形 管 理 表

種目

受注者名

様式 2-2

工事名 _____

工 測 定 結 果 一 覧 表

受注者名 _____

測定者 _____

測定項目	測 点	(A) 設 計 値	(B) 実 測 値	(C)=(B)-(A) 差	規 格 値	(D) 檢 査 測 定 値	(E)=(D)-(A)

測定項目	測 点	(A) 設 計 値	(B) 実 測 値	(C)=(B)-(A) 差	規 格 値	(D) 檢 査 測 定 値	(E)=(D)-(A)

工事名 _____

工出来形管理図表

受注者名 _____

測定者 _____

測 点 番 号	
月 日	
設計値との差 (mm)	
記 事	

様式 4

工事名 _____

工 度 数 表

受注者名 _____

測 定 者 _____

度数(回) ↑

(-) ← 設計値との差 → (+)

施工管理基準

様式 5

工事名

参考様式

工 品 質 管 理 表

種目

受注者名

様式 6

調 査 結 果 総 括 表

調 査 名

調査場所

調査No.			
採取深度 cm			
統一分類記号			
名称			
粒 度 分 析	礫 分 %		
	砂 分 %		
	細 粒 分 %		
	6 0 % 径 mm		
	3 0 % 径 mm		
	1 0 % 径 mm		
	フルイ通過率 %	4.75 mm	
		2.36 mm	
		0.425 mm	
		0.075 mm	
均等係数 Cu			
	曲率係数 Cc		
物 理 試 験	含水比 %		
	液性限界LL%		
	塑性限界 PL%		
	塑性指数 PI		
変 状 土 C B R	突 固 め 回 数 6 7 回	1	
		2	
		平均	
	C B R %		
修 正 C B R 試 験	最適含水比 %		
	最大乾燥密度g/cm ³		
	最大乾燥密度の95%		
	突 固 め 回 数	17 回	
42 回			
92 回			
修正 C B R %			

現場における土の置換法による単位体積重量の測定

調査名、目的		試験日程				年	月	日			
測定箇所および測点番号		試験者									
土の最大粒径		mm		測定器番号							
測定器の体積		cm ³		測定器の重量		g					
I 試験用砂の単位体積重量の検定											
測定番号		1	2	3	4	5	試験用砂の 平均単位 体積重量 rst =g/cm ³				
ジャーとピクノメータートップに砂を満たした重量Wjs		g									
測定器全体の重量Wj		g									
満たした砂の重量 (Wjs - Wj)		g									
ジャーとピクノメータートップとの体積Vj		cm ³									
試験用砂の単位体積重量rst		g/cm ³									
II ロト(ベースプレートを含む)を満たすに要する砂の重量検定											
測定番号		1	2	3	4	5	ロトを満た すに要する 砂の平均重 量 Wjf = g				
ジャーとピクノメータートップに砂を満たした重量Wjs		g									
ロトを満たした砂を除きジャーに残った砂の重量Wj2		g									
ロトを満たした砂の重量 (Wj3 - Wj2) = Wjf		g									
III 試験孔からとり出した土の湿潤重量、含水比および乾燥重量の測定											
試験孔の番号	湿潤土および乾燥土重量の測定			含水比の測定							
~1	容器(バケツ)の番号			試料箱No.	No.	No.					
	(湿土+バケツ)の重量			WW	DW	WW	DW				
	容器(バケツ)の重量			DW	TW	DW	TW				
	湿潤土の重量WwA			Ww	Ws	Ww	Ws				
	乾燥土の重量Wv			w = %		w = %		平均含水比 w = %			
~2	容器(バケツ)の番号			試料箱No.	No.	No.					
	(湿土+バケツ)の重量			WW	DW	WW	DW				
	容器(バケツ)の重量			DW	TW	DW	TW				
	湿潤土の重量WwA			Ww	Ws	Ww	Ws				
	乾燥土の重量Wv			w = %		w = %		平均含水比 w = %			
~3	容器(バケツ)の番号			試料箱No.	No.	No.					
	(湿土+バケツ)の重量			WW	DW	WW	DW				
	容器(バケツ)の重量			DW	TW	DW	TW				
	湿潤土の重量WwA			Ww	Ws	Ww	Ws				
	乾燥土の重量Wv			w = %		w = %		平均含水比 w = %			
試験孔番号	~1	~2	~3	(予備欄)							
ジャーとピクノメータートップに砂を満たした重量Wjs		g									
ジャーに残った砂の重量Wj3		g									
試験孔およびロトに入った砂の重量 (Wj2 - Wj3)		g									
試験孔に入った砂の重量 (Wj2 - Wj3) - Wjf											
試験孔の体積		V cm ³									
試験孔番号	~1	~2	~3	平均した砂の単位体積重量 rt = g/cm ³ rd = g/cm ³							
土の湿潤単位体積重量 rt		g/cm ³									
土の乾燥単位体積重量 rd		g/cm ³									
(備考)											
I 砂の単位体積重量: $rst = \frac{(Wj3 - Wj)}{V}$			III 乾燥土重量: $Wv = \frac{WwA \times 100}{100 + w}$								
IV 試験孔の体積: $V = \frac{(Wj2 - Wj3) Wjf}{rst}$			V 土の湿潤単位体積重量: $rt = \frac{WwA}{V}$								
			土の乾燥単位体積重量: $rd = \frac{Wv}{V}$								

様式 7-2

		現場密度測定試験 (突砂法)		報告用紙	
工事名		試験日		年	月 日
工事場所		天 候			
工 種		試 験 者			
使用材料名					
① 砂の単位体積重量		g/cm ³	測 定 番 号		
掘り取った穴の容積	② 試験前の砂の重量	(g)			
	③ 試験後の砂の重量	(g)			
	④ ベースプレスト中の砂の重量	(g)			
	⑤ 穴につめた砂の重量 (②-③-④)	(g)			
	⑥ 掘り取った穴の容積 (⑤/①)	(cm ³)			
湿潤密度	⑦ (湿潤試料+容器) 重量	(g)			
	⑧ 容 器 の 重 量	(g)			
	⑨ 湿潤試料重量 (⑦-⑧)	(g)			
	⑩ 湿潤密度 (⑨/⑥)	(g/cm ³)			
含水比及び乾燥密度	⑪ (乾燥試料+容器) 重量	(g)			
	⑫ 容器の重量	(g)			
	⑬ 乾燥試料重量 (⑪-⑫)	(g)			
	⑭ 全体含水量 (⑨-⑬)	(g)			
	⑮ 全体含水比 (⑭/⑬×100)	(%)			
	⑯ 乾 燥 密 度	rd (g/cm ³)			
⑰ 最大乾燥密度	rd (g/cm ³)				
⑱ 締固め度 (⑯/⑰×100)	(%)				
⑲ 締固め度平均	(%)				
備 考					

道路の平板載荷試験 (JIS A 1215)

工事名 _____

工種名 _____

測定番号 _____

試験期日 年 月 日

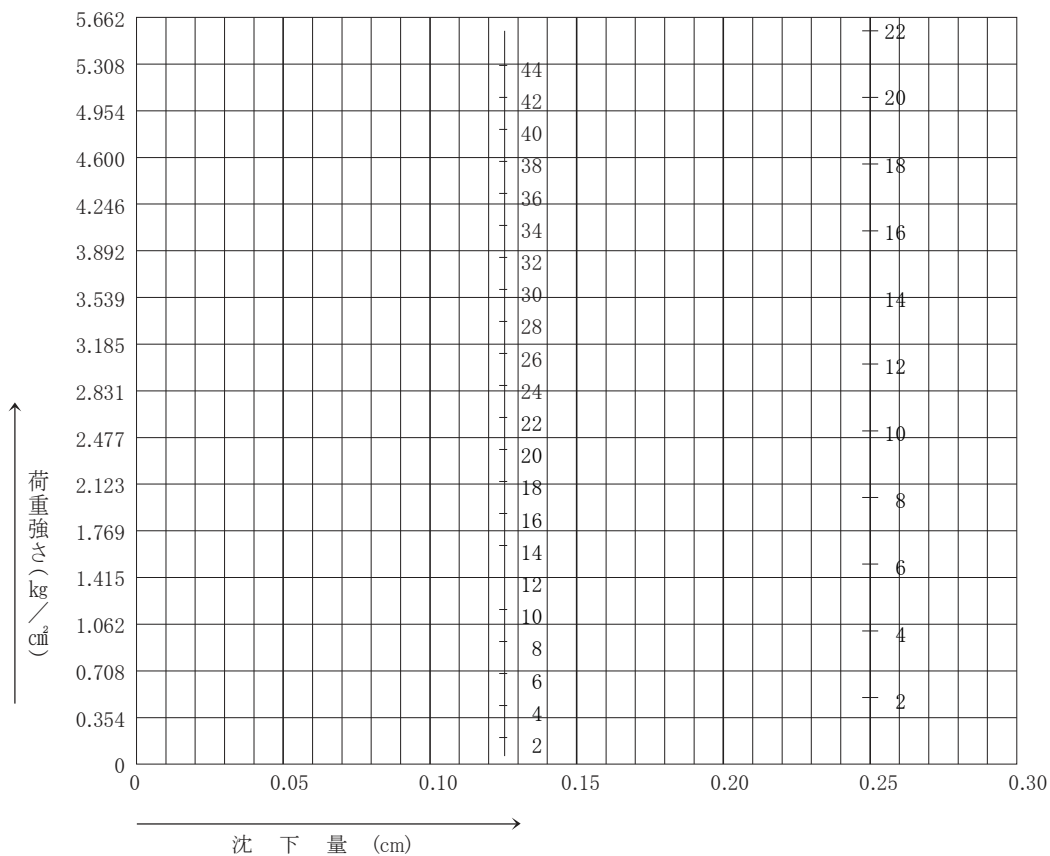
路面の状態 _____

載荷盤直径 載荷盤面積

荷重 (t)	kg/cm ²	沈下量ダイヤルゲージの読み 1/100mm			
		左	中	右	平均値
0.250	0.354				
0.500	0.708				
0.750	1.062				
1.000	1.415				
1.250	1.769				
1.500	2.123				
1.750	2.477				
2.000	2.831				
2.250	3.185				
2.500	3.539				
2.750	3.892				
3.000	4.246				

受注者名 _____

天候 _____ 測定者 _____



$$K_{30} = \frac{\text{荷重(kg/cm}^2\text{)}}{\text{沈下量(cm)}} = K_{75} = \frac{K_{30}}{2.2} \text{ kg/cm}^2$$

様式 9

ブルーフローリング試験

工 事 名 _____

受注者名 _____

工 種 名 _____

測 定 者 _____

項 目	事 項				備 考
試 験 条 件	天 候		測 定 面 の 含 水 状 況		
試 験 区 間	No. _____ ~ No. _____				
載 荷 車	型 式		接 地 圧		
載 荷 状 況	予 備 載 荷 回 数	回	本 載 荷 速 度	km/h	

試 験 結 果							
視 察 展 開 図	No.	No.	No.	No.	No.	No.	No.
	No.	No.	No.	No.	No.	No.	No.
視 察 記 事							
異 状 箇 所 の 処 置							

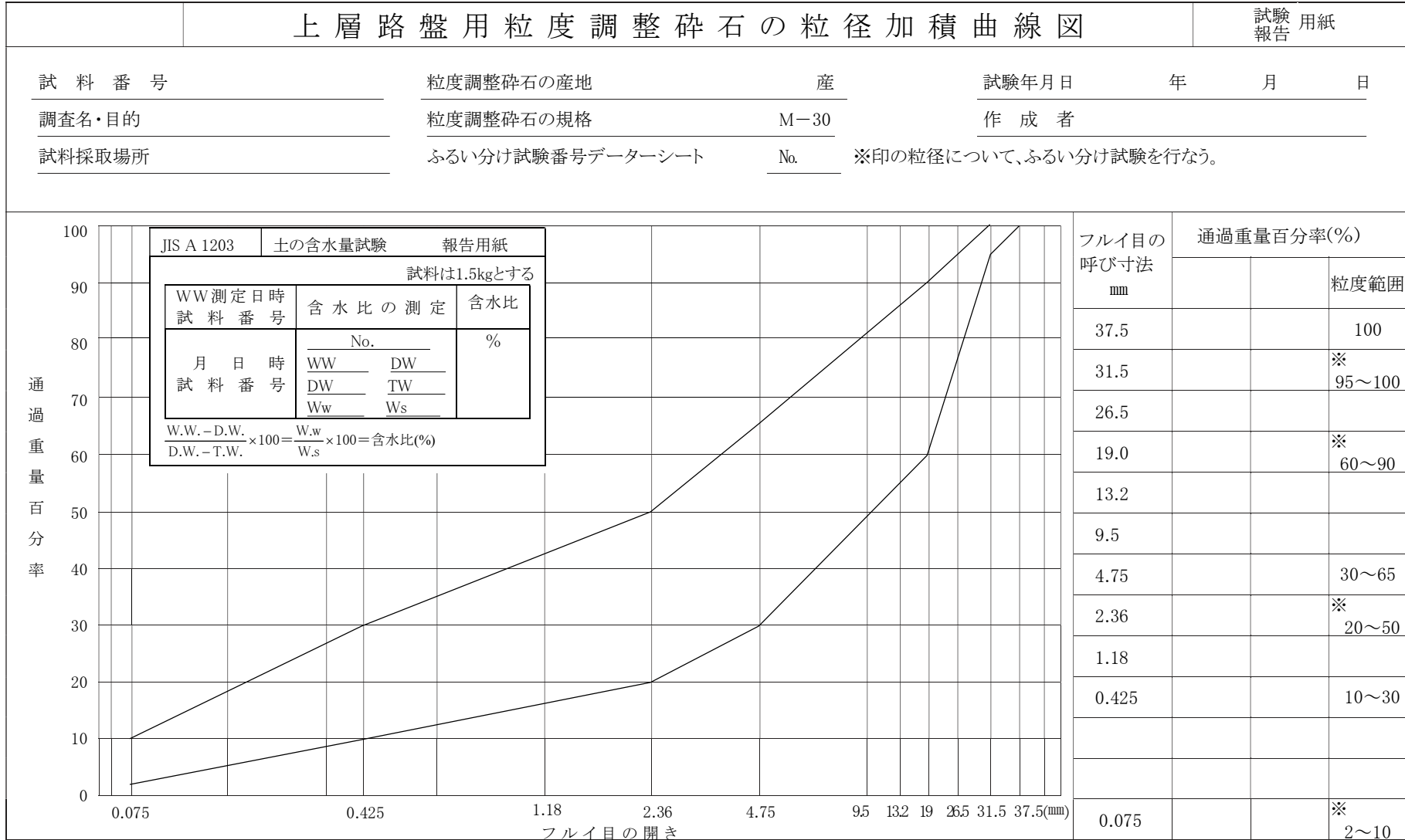
参考様式

様式 10-1

		現場における土の乾燥単位体積重量測定用紙			記録用紙	
測定者		測定日		年	月	日
調査名・目的		使用材料名		産		
施工場所						
測定場所	工種区分					
	測定番号					
	転圧作業日					
積砂の重量 単位体積	① キャリブレーション容器の重量	(g)				
	② キャリブレーション容器に砂を満したときの重量	(g)				
	③ 砂の単位体積重量 $\frac{②-①}{\text{キャリブレーション容器}}$	(g/cm ³)				
掘り取った穴の容積	④ 試験前(砂+キャリブレーション容器)重量	(g)				
	⑤ 試験後(" + ") "	(g)				
	⑥ ベースプレート中の砂の重量	(g)				
	⑦ 穴につめた砂の重量 (④-⑤-⑥)	(g)				
	⑧ 掘り取った穴の容積 $\frac{⑦}{③}$	(cm ³)				
湿潤密度	⑨ (湿潤試料+容器)重量	(g)				
	⑩ 容器の重量	(g)				
	⑪ 湿潤試料の重量 $⑨-⑩$	(g)				
	⑫ 湿潤密度 $\frac{⑪}{⑧}$	γ_t (g/cm ³)				
含水比 及 乾燥 密度	⑬ (乾燥試料+容器)重量	(g)				
	⑭ 容器の重量	(g)				
	⑮ 乾燥試料重量 $⑬-⑭$	(g)				
	⑯ 全体含水量 $\frac{⑮}{⑪}$	(g)				
	⑰ 全体含水比 $\frac{⑯}{⑮} \times 100$	(%)				
	⑱ 乾燥密度 $\frac{⑮}{⑧}$	(g/cm ³)				
	⑲ 最大乾燥密度	γ_d (g/cm ³)				
	⑳ 締固め度 $\frac{⑱}{⑲}$	(%)				
	平均値					

下層路盤用クラッシャーランの粒径加積曲線図			試験 報告 用紙
試料番号	クラッシャーランの産地	産	試験年月日 年 月 日
調査名・目的	クラッシャーランの規格	C-30	作成者
試料採取場所	ふるい分け試験番号データシート	No.	※印の粒径について、ふるい分け試験を行なう。

通過 重量 百分率	100	JIS A 1203 土の含水量試験 報告用紙 試料は1.5kgとする		フルイ目の 呼び寸法 mm	通過重量百分率(%)																
	90	含水比の測定	含水比			粒度範囲															
80	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">WW測定日時</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">No.</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td>試料番号</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>月 日 時</td> <td>WW</td> <td>DW</td> </tr> <tr> <td>試料番号</td> <td>DW</td> <td>TW</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>Ww</td> <td>Ws</td> </tr> </table>		WW測定日時	No.		%	試料番号			月 日 時	WW	DW	試料番号	DW	TW			Ww	Ws	※	100
WW測定日時	No.		%																		
試料番号																					
月 日 時	WW	DW																			
試料番号	DW	TW																			
	Ww	Ws																			
70	$\frac{W.W. - D.W.}{D.W. - T.W.} \times 100 = \frac{W.w}{W.s} \times 100 = \text{含水比}(\%)$		※	95~100																	
60			※	26.5																	
50			※	19.0																	
40				13.2																	
30				9.5																	
20				4.75																	
10				2.36																	
0				1.18																	
	0.075	0.425	1.18	0.425	0~18																
		2.36	4.75	0.075	※																
			9.5		0~10																
			13.2																		
			19																		
			26.5																		
			31.5																		
			37.5																		
			フルイ目の開き																		



様式 11-1

アスファルト合材の管理試験					
路線名	工事施工箇所			試験者	
年 月 日	アスファルトケトル中の温度℃	骨材温度	出荷時温度	転圧前合材温度℃	備 考

参考様式

様式 11-2

基準密度測定表										
路線名		工事施工箇所				試験者				
供試体番号	混合率 %	成型月日	試験月日	厚さの測定		基準密度の測定				備考
				厚さ cm	平均 cm	A gr	B gr	C gr	$\frac{A}{B-C}$	
										6個の平均値

A: 供試体の乾燥重量(gr)

B: 水中測定後供試体表面の水分をぬぐいとったときの空中重量(gr)

C: 供試体の水中重量(gr)

様式 11-3

配 合 設 計 決 定 表

工 事 名: _____

工事場所: _____

合 材 種 別: _____

安 定 度		kg
フ ロ ー 値		1/100cm
空 隙 率		%
飽 和 度		%
基 準 ア ス フ ァ ル ト 量		%
基 準 密 度		g/cm ³
粒 度	26.5 m/m	%
	19.0 "	%
	13.2 "	%
	4.75 "	%
	2.36 "	%
	0.6 "	%
	0.3 "	%
	0.15 "	%
	0.075 "	%

アスファルトの抽出試験 (ソックスレー法)		試験用紙 報告		
工 事 名 _____ 試 験 年 月 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日				
工 事 施 工 箇 所 _____ 測 定 者 _____				
混 合 物 の 種 類 _____ ろ 過 装 置 の 種 類 _____				
受 注 者 名 _____ 溶 剤 の 種 類 _____				
試験測定番号		1	2	3
① 容 器 の 重 量 (g)				
② (容 器 + 試 料) 重 量 (g)				
③ 試 料 重 量 (g)	②-①			
④ 円 筒 ろ 紙 の 乾 燥 重 量 (g)				
⑤ (抽 出 後 の 乾 燥 骨 材 + 容 器) 重 量 (g)				
⑥ 容 器 重 量 (g)				
⑦ 抽 出 後 の 骨 材 重 量 (g)	⑤-⑥			
⑧ 抽 出 後 円 筒 ろ 紙 の 乾 燥 重 量 (g)				
⑨ 円 筒 ろ 紙 に 付 着 し た フ ィ ラ ー の 重 量 (g)	⑧-④			
⑩ 全 抽 出 骨 材 重 量 (g)	⑦+⑨			
⑪ ア ス フ ァ ル ト 重 量 (g)	③-⑩			
⑫ ア ス フ ァ ル ト 含 有 率 (%)	⑪/③×100			
⑬ 平 均 値	基準値			
抽出骨材のフルイ分け試験(2.36mm及び0.075mmフルイ通過骨材重量百分率)				
⑭ 容 器 ま た は 0 . 0 7 5 m m フ ル イ の 重 量 (g)				
⑮ 水 洗 い 前 (骨 材 + 容 器 ま た は 0.075mmフルイ)重量 (g)	⑦+⑭			
⑯ 水 洗 い 後 (") 乾 燥 重 量 (g)				
⑰ 0 . 0 7 5 m m フ ル イ 通 過 骨 材 重 量 (g)	⑮-⑯+⑨			
⑱ 0 . 0 7 5 m m フ ル イ 通 過 重 量 百 分 率 (%)	⑰/⑩×100			
⑲ 平 均 値	基準値			
⑳ 2 . 3 6 m m フ ル イ 残 留 骨 材 重 量 (g)				
㉑ 2 . 3 6 m m フ ル イ 通 過 骨 材 重 量 (g)	⑩-㉑			
㉒ 2 . 3 6 m m フ ル イ 通 過 骨 材 重 量 百 分 率 (%)	㉑/⑩×100			
㉓ 平 均 値	基準値			

様式 13

密度及び厚さの測定表											
工事名		工事施工箇所				測定者					
受注者名		混合物種類				標準締固め密度					
供測 試 体点	混 合 率 %	舗 設 月 日 時	試 験 月 日 時	厚さ,密度の測定						締 固 め 度	備 考
				厚 さ cm	平 均 cm	A	B	C	$\frac{A}{B-C}$		

- A: 供試体の乾燥空中重量(gr)
- B: 水中測定後供試体表面の水分ぬぐい取ったときの空中重量(gr)
- C: 供試体を常温の水中に約1分間浸した後の水中重量(gr)

参考様式

注 標準締固め密度欄内の()書は、標準密度の94%密度
様式 14

JIS A 1112
まだ固まらないコンクリートの洗い分析試験

工事名 _____ 受注者名 _____

工種名 _____ 測定者 _____

項目		測定番号		
試料の空中重量 (g)				
試料の水中重量 (g)				
試料の総体積 (g)				
砂の水中重量 (g)				
砂利の水中重量 (g)				
砂の比重 (g)				
砂利の比重 (g)				
試料含有量	セメント (g)			
	砂 (g)			
	砂利 (g)			
	水 (g)			
単位量換算 (kg/m ³)	セメント量			
	細骨材量			
	粗骨材量			
	単位水量			
	水セメント比 (%)			

[注] 砂:4.75mmフルイを通過し、0.15mmフルイに止まるもの

砂利:4.75mmフルイに止まるもの

様式 15-1

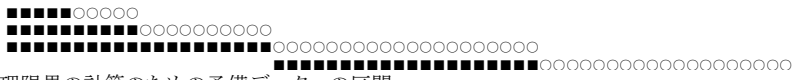
$\bar{x} - R$ 管理データシート(1)

名称		工事名		期間	自	
品質・特性					至	
測定単位		日標準量		受注者		
規格 限界	上限値	試 料	大 き さ	現場代理人		
	下限値	間 隔		測定者		
設計基準値		作業機械名		測定者		

月日	組の 番号	測定値					計 Σx	平均値 \bar{x}	範囲 R			
		x_1	x_2	x_3	x_4	x_5						
	1								$\bar{x} \pm A_2 \cdot \bar{R} =$			
	2											
	3											
	4								平均	$\bar{x} =$	$\bar{R} =$	
	5								累計			
	小計								小計			
	6								$\bar{x} \pm A_2 \cdot \bar{R} =$			
	7											
	8											
	9								平均	$\bar{x} =$	$\bar{R} =$	
	10								累計			
	小計								小計			
	11								$\bar{x} \pm A_2 \cdot \bar{R} =$			
	12											
	13											
	14											
	15											
	16											
	17											
	18											
	19								平均	$\bar{x} =$	$\bar{R} =$	
	20								累計			
	小計								小計			
記事									n	d_2	A_2	D_4
									2	1.13	1.88	3.27
									3	1.69	1.02	2.57
									4	2.06	0.73	2.28
									5	2.33	0.58	2.11

(注)1.規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。

2.管理限界線の引き直しは5-5-10-20-20方式による。



(備考) ■ 管理限界の計算のための予備データの区間

○ 上記の管理限界を適用する区間

3. 21組~40組までは、別に新しいデータシートに記入する。以下20組ごとに同様とする。

\bar{x} -R管理図(1)

設計基準値	工事名	工事
名称	日標準量	
品質特性	規格限界	上限値
測定単位		下限値
測定方法	試料	大きさ
作業機械名		間隔

測定者 _____

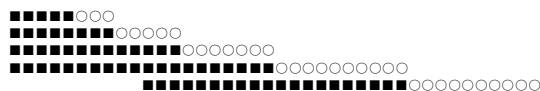
\bar{x}	
R	
組の番号	
記事	

- (注) 1. 管理図は、別紙 \bar{x} -R管理データシート(1)から記入する。
 2. 記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。

x-Rs-Rm管理データシート(1)

名称		工事名				期間	自						
品質・特性							至						
測定単位		日標準量				受注者							
規格限界	上限値	試料				大きさ	現場代理人						
	下限値	間隔					測定者						
設計基準値		作業機械名				測定者							
月日	試験番号	測定値				計Σ	平均値 \bar{x}	移動範囲 Rs	測定値内の範囲 Rm	$\bar{x} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$			
		a	b	c	d					$D_4 \cdot R_s =$			
	1								$D_4 \cdot \bar{R}_m =$				
	2												
	3												
	4								平均	$\bar{x} =$	$\bar{R}_s =$	$\bar{R}_m =$	
	5								累計				
	小計								小計				
	6								$\bar{x} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$				
	7								$D_4 \cdot R_s =$				
	8								$D_4 \cdot \bar{R}_m =$				
	小計								平均	$\bar{x} =$	$\bar{R}_s =$	$\bar{R}_m =$	
									累計				
									小計				
	9								$\bar{x} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$				
	10								$D_4 \cdot R_s =$				
	11								$D_4 \cdot \bar{R}_m =$				
	12								平均	$\bar{x} =$	$\bar{R}_s =$	$\bar{R}_m =$	
	13								累計				
	小計								小計				
	14								$\bar{x} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$				
	15								$D_4 \cdot R_s =$				
	16								$D_4 \cdot \bar{R}_m =$				
	17												
	18												
	19								平均	$\bar{x} =$	$\bar{R}_s =$	$\bar{R}_m =$	
	20								累計				
	小計								小計				
記事									n	d_2	D_4	E_2	
									2	1.13	3.27	2.66	
									3	1.69	2.57	1.77	
									4	2.06	2.28	1.46	
									5	2.33	2.11	1.29	

- (注) 1. 規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。
 2. 管理限界線の引き直しは5-3-5-7-10-10-10方式による。



(備考) ■ 管理限界の計算のための予備データの区間

○ 上記の管理限界を適用する区間を示す。

3. 以下、最近の20組(平均値 \bar{x} を1箇とする)のデータを用い、次の10箇に対する管理限界とする。

$\chi - R_s - R_m$ 管理図

設計基準値		工事名	工事
名称		日標準量	
品質特性		規格限界	上限値
測定単位			下限値
測定方法		試料	大きさ
作業機械名			間隔

測定者 _____

χ	
R_s	
R_m	
組の番号	
記事	

- (注) 1. 管理図は、別紙 $\chi - R_s - R_m$ 管理データシートから記入する。
 2. 記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。

